

付属推薦・指定校推薦出願状況

高3生は基礎学力到達度テストの結果が出ただけでなく、出願先も決定している状況です。現時点での付属推薦の出願状況をまとめました。

今年度の基礎学力到達度テストの結果を受けて、各受験生が自分の希望する学科に出願しますが、基礎学力選抜については、志望学科選定の際の判断材料として、各学科における過去の最低通過順位を参考にしました。その結果、大学出願前の選抜に当たる「セレクション」を経て、以下の表のような通過者の数となっています。また付属特別選抜の豊山枠については、校内での成績もとに校内選考を経て選抜されました。今年度は近年と比較して、基礎学力到達度テストの成績が向上したことが要因で、セレクションを通過する生徒が増え、その結果基礎学力選抜での出願者が増えたと言えるでしょう。



< 日本大学への出願状況 >

	基礎学力	付属特別	国公立併願	合計
法	31	13	0	44
法(二部)	3	5	0	8
文理	32	4	-	36
経済	26	22	0	48
商	18	9	0	27
芸術	5	4	-	9
国際関係	1	1	0	2
危機管理	6	1	-	7
スポーツ科	1	1	-	2
理工	52	48	1	101
生産工	7	14	0	21
工	1	1	0	2
医	1	-	-	1
歯	0	-	-	0
松戸歯	0	0	-	0
生物資源科	28	9	0	37
薬	5	-	0	5
短大三島	1	0	-	1
短大船橋	2	-	-	2
合計	220	132	1	353

各学部の人数で「0」は出願者がいないことを表し、「-」は学部がその方式を採用していないことを表しています。

< 指定校出願校 >

学習院大学・上智大学・中央大学・東京理科大学
法政大学・明治大学・立教大学・芝浦工業大学
東京経済大学・東京電機大学・東京都市大学
東京農業大学・明治学院大学・城西国際大学
工学院大学・拓殖大学など

指定校についても出願生徒が順次決定しています。指定校については校内での成績をもとに、希望者の中で校内選考が行われました。今年度は80名の希望に対して47名が通過しました。また、指定校推薦は進学クラスや体育クラスのみならず特進クラスも希望できますが、力があり総合序列の上位にいる生徒が人気校に通過するケースが多いです。また、希望者の数は昨年よりも20名近く減っています。その分日大へ推薦で出願できる生徒数が増えたともいえます。

指定校推薦というのは、各大学の判断で本校に推薦枠を割り当てて頂いているものですので、校内選考を通過した生徒はこれまでの先輩と同じかそれ以上の頑張りを期待します。

今後は、11月上旬を中心に出願が行われ、その後各大学の選考を経て合否が決定する予定です。

【屋嘉比】

指定校推薦で気をつけること

本校は非常に多くの大学・短期大学・専門学校等から指定校推薦をいただいています。今年度の高校3年生は、現在のところ47名がその指定校推薦を使い、進学先を決めようとしています。指定校推薦での進学を考えている人もいますが注意点がいくつかあります。以下に書いておいたのは是非参考にしてみてください。

1. 出願条件に達していなかった。

ほぼすべての大学等は、指定校推薦の出願条件に「評定平均値」を挙げています。ただし、それだけではない大学も多いです。「出席日数」や「資格取得(特に英検が多い!)」、変わったところでは「オープンキャンパスに参加した」「英語に関する資格を受験したことがある」などの条件も。同じ大学・学部であっても基準が違うことがあり、慎重に確認する必要があります。条件に達していないのに出願しても、当然合格することはできません。

2. 必ず合格するわけではない! & 枠がなくなることがある。

指定校推薦は高校と大学との信頼関係で行われるものです。原則として不合格になることはほとんどありませんが、100%合格ではないのも事実です。対策はしっかりと行いましょう。また、指定校推薦で進学した場合、その人の大学での学習態度等が悪いと、**来年度からの指定校推薦の枠がなくなってしまうことがあります。**後輩のためにも責任を持った学校生活を送ってください。

3. 校内選考通過後は辞退できない!

校内選考通過後は必ず入学まで進んでもらうことになります。また、他の推薦と同時進行することも基本的にはできないので注意してください。



【川原】

調査書について知っておこう

大学受験の際に必要な「調査書」とは、どのような書類なのでしょうか。「厳封」状態での出願を大学が求めているため、受験生本人が実物を目にする機会は有りません(受験生が勝手に開封したら、その調査書は無効となってしまいます)。ですので、主な内容を以下にご紹介します。

【調査書の主な内容】

- 住所氏名、高校への入学年月・卒業(卒業見込)年月
- 各科目の評定と修得単位数
- 評定平均値(全科目/科目ごと)
- 学習成績概評(A～E段階で示される)
- 「総合的な学習の時間」で取り組んだ内容と評価
- 生徒会活動(生徒会役員や各委員会)、クラス内での係分担、部活動、学校行事
- 各学年での様子(「学習における特徴」「行動の特徴、特技」「部活動、ボランティア活動、留学・海外経験」「取得資格・検定」「表彰・顕彰等」という観点で記される)
- 出欠の記録(欠席日数やその理由が記載されている)

学年ごとの記録なので、高1・高2での評定や欠席日数も大学側に伝わることになりますね。文部科学省のHPでサンプルが公開されているので、一度見てみるとイメージしやすいでしょう。

1通の調査書を発行するまでには、担任の先生・進路指導部・学年主任・事務室庶務課…と多くの人が携わります。即日発行はできませんので、遅くとも受領希望日の10日前には申し込みましょう。



【竹原】

高3 面接指導講演会

校内選考やセレクションを通過した高校3年のみなさんは、出願書類の作成が大変だったかと思います。特に、志望理由書に頭を悩ませ、やっとのことで完成させたのではないのでしょうか。推薦入試全体で見ると、まだ出願した段階(11/1出願)に過ぎません。入試本番はこれからとも言えます。

高校3年生を対象に「面接指導講演会」が動画で配信されました。これは10月3日(月)に本校にて撮影したものです。同じ高3の3名の生徒が実際に模擬面接に臨みました。動画の内容では、3名が真剣な面持ちで受け答えをしています。動画を観るみなさんも、同様のモチベーションで選考当日に臨んでください。

動画では、①入室の方法・マナー、②面接で受け答えをする際の座る姿勢、③面接官の方への伝え方・言葉遣い、などなど、気をつけなければならないポイントが盛りだくさんとなっています。実際に模擬面接をする前にぜひおさえておきたいところですね。

面接では、皆さんの各学科の専門性についての質問はもちろんのこと、皆さんがこれまでに積み上げてきたものや「これからどうなりたいのか」という未来も見られるという意識を持っておきましょう。



← 撮影日当日は、入念な準備のもとで放送部がカメラを回してくださいました



← 3名の生徒はみな真剣な面持ちで模擬面接に臨んでいました



【多胡】

实用英語技能検定について

大学入試において、英語資格・検定試験を利用することができる大学が増えてきました。今回は、豊山生も多く受験している「实用英語技能検定」(英検)について、詳しく紹介します。

英検は文部科学省が後援しており、7つの級(5級・4級・3級・準2級・2級・準1級・1級)を設定しています。

○CSEスコア

英検を受験すると、併せて4技能を数値化したCSEスコアというものが伝えられます。このCSEスコアとは、国際基準規格のCEFR(セファール)と関連性をもたせたユニバーサルなスコア尺度のことです。

○CEFR(セファール)

「ヨーロッパ言語共通参照枠」と呼ばれるもので、外国語の習熟度や運用能力を同一の基準で評価する国際標準のことです。習熟度はA1・A2・B1・B2・C1・C2の6段階でレベル分けされています。

CEFRレベル	CEFRを算出できる受験級	英検CSEスコア
C2		
C1	1級	2600～
B2	1級, 準1級	2300～
B1	準1級, 2級	1950～
A2	2級, 準2級	1700～
A1	準2級, 3級	1400～

○受験回数の増加

英検は年間で3回の受験機会がありますが、「英検S-CBT」は原則、毎週土日に実施されています。

○「英検S-CBT」

スピーキング・リスニング・リーディング・ライティングの4技能を一日で測ることができます。また、特徴としてPC画面上にて技能ごとの質問や問題が出題され、解答はマウス操作・キーボード操作または解答用紙手書き・吹き込み式で行います。今までの英検と同様の級・スコアとして扱われます。



【埜口】

日本大学文理学部体験授業

例年行われている日本大学文理学部による体験授業も、近年のコロナ禍により実施が見送られてきました。今年は久しぶりの開催となり、本校からは1年生31名、2年生25名、3年生11名の延べ67名が参加しました。他の付属校からも多くの生徒が参加しており、大賑わいとなっていました。当日は、以下のような6種類の各30分の講義が展開され、生徒はそれぞれ事前に希望した講義に臨みました。生徒は真剣に講義を聴いて、学ぶことの面白さを感じていました。1・2年生の皆さんは来年もぜひ参加しましょう。

人文系①	哲学科	→ 異文化理解としての宗教学
	英文学科	→ 英語の前置詞を通して人間の心を知る
	ドイツ文学科	→ ドイツ音楽の歴史と「音楽の父」バッハ
人文系②	史学科	→ 歴史はどのように描かれるのか?
	国文学科	→ 本から飛び出した古典文学
	中国語中国文学科	→ 外国語学習と中国語
社会系③	社会学科	→ 旅する社会学へ
	社会福祉学科	→ 障害者福祉論の展開～障害とは何か～
	教育学科	→ 教育学の不思議
社会系④	体育学科	→ スポーツバイオメカニクス
	心理学科	→ 心理学を学べば人のこころは読めるのか?
	地理学科	→ 環境と人間のかかわりを考える
理学系⑤	地球科学科	→ 二酸化炭素を地下に封じ込める
	生命科学科	→ 二つの核をもつ不思議な単細胞生物テラヒメナ
	化学科	→ 環境に優しい化学反応
理学系⑥	数学科	→ 合同式の発見
	情報科学科	→ コンピュータ「ガ」作曲する方法
	物理学科	→ 太陽電池の発展とその物理



← 社会福祉学科による障害者福祉論の講義に臨む各付属校の生徒の様子(百周年記念館にて)

【多胡】

11月の進路行事

11月12日(土)～20日(日)	各学部付属推薦選考日(高3)	日
12月2日(金)	追加募集実施学部学科発表(高3)	()
12月6日(火)	追加募集セレクション申告届提出(高3)	()
12月7日(水)	追加募集セレクション結果発表(高3)	日直
12月9日(金)	追加募集出願期日(高3)	日直

高3の付属推薦は、学部や方式によっては書類選考だけの場合がありますが、原則として面接、学部によっては小論文や実技となります。下表に日程を掲載しておきますので、十分な準備をして臨んでください。

学部	選考日	合格発表	手続締切	学部	選考日	合格発表	手続締切
法	11/20	12/1	12/16	生産工	11/20	12/1	12/13
文理	11/19	12/1	12/16	工	11/19	12/1	12/19
経済	—	12/1	12/15	医	11/12	12/1	12/8
商	11/19	12/1	12/15	歯	11/19	12/1	12/8
芸術	11/20	12/1	12/12	松戸歯	11/19	12/1	12/8
国際関係	11/19	12/1	12/13	生物資源科	11/19	12/1	12/12
危機管理	11/20	12/1	12/14	薬	11/19	12/1	12/15
スポーツ科	11/20	12/1	12/14	短大三島	11/19	12/1	12/13
理工	11/19	12/1	12/15	短大船橋	11/12	12/1	12/15

※経済学部は「書類と事前課題」で選考する。

◆追加募集(ここ3年間で昨年度だけ実施されました)

学部	募集発表	エントリー締切	結果発表	出願期日	選考日	合格発表	手続締切
法				12/9	12/14	12/17	1/6
法・第二部				12/9	12/14	12/17	1/6
文理				12/9	12/14	12/21	1/12
経済				12/9	—	12/19	12/23
国際関係				12/9	—	12/19	1/10
理工				12/9	12/18	12/21	1/12
生物資源科				12/9	—	12/26	1/13
短大三島				12/9	—	12/19	1/10
短大船橋				12/9	12/17	12/21	1/11

※経済学部は書類審査、国際関係学部・生物資源科学部・短大三島は書類選考となる。



【屋嘉比】

次回12月号は、11月28日(月)発行予定です